

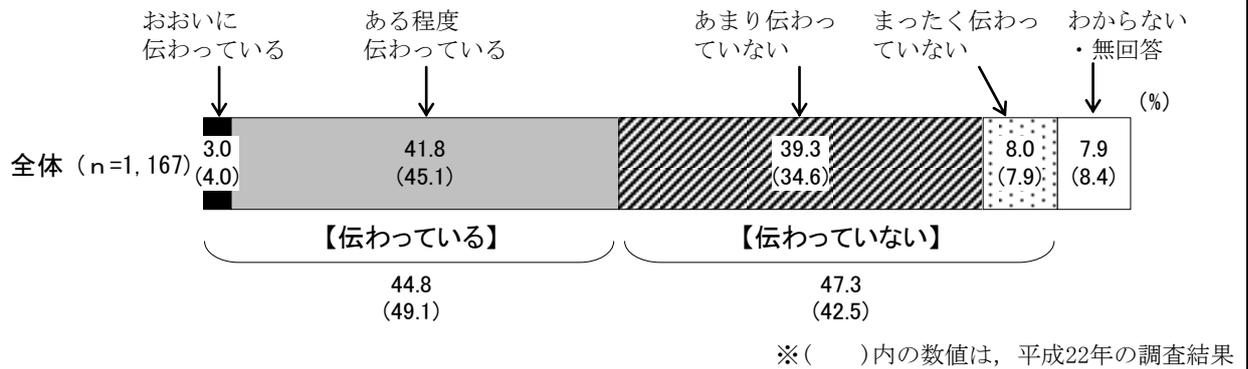
XIII 広報活動

1. 県政情報の到達度

—【伝わっている】と【伝わっていない】がそれぞれ4割台—

問1 本県では県民の皆さんに、県の仕事内容、計画、行事などをさまざまな方法 ※ によりお知らせしていますが、県政情報の到達度はいかがですか。次の中から1つだけ選んでください。

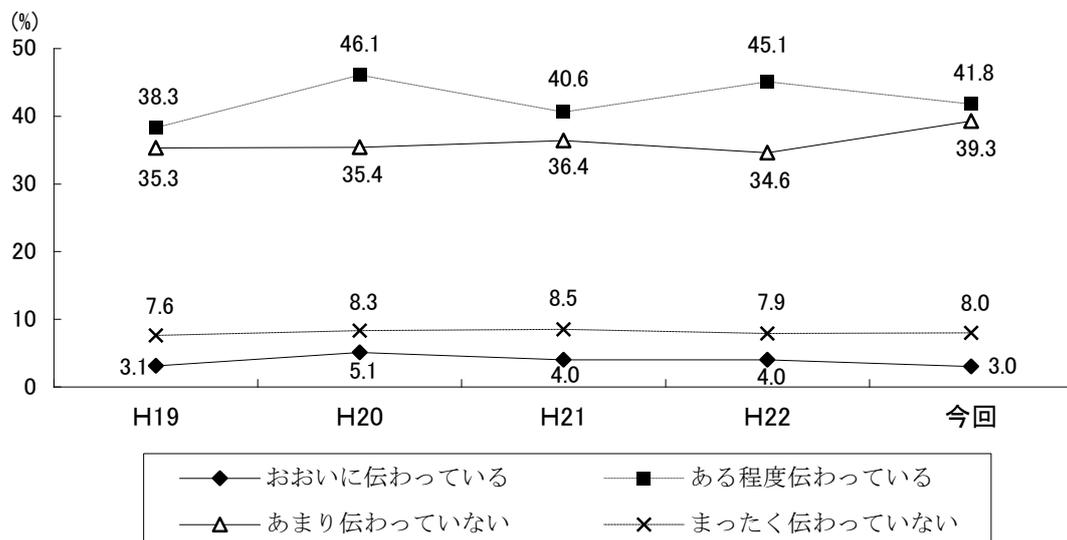
※ 県広報紙「ひばり」や新聞広告、テレビ広報やラジオ放送、県のホームページなどインターネットを活用した情報配信など



県政情報の到達度としては、「おおいに伝わっている」(3.0%)と「ある程度伝わっている」(41.8%)を合わせた【伝わっている】(44.8%)は、4割台半ばとなっている。一方、「あまり伝わっていない」(39.3%)と「まったく伝わっていない」(8.0%)を合わせた【伝わっていない】(47.3%)は、約5割となっている。

前回調査と比べると、【伝わっている】は、約4ポイント減少し、【伝わっていない】は約5ポイント増加している。

図XIII 1-1 県政情報の到達度(時系列)



－【伝わっている】は、県央で約5割－

地域別でみると、【伝わっている】は、県央（49.2%）で約5割と最も高くなっている。一方、【伝わっていない】は、鹿行（50.0%）と県西（50.7%）で約5割となっている。

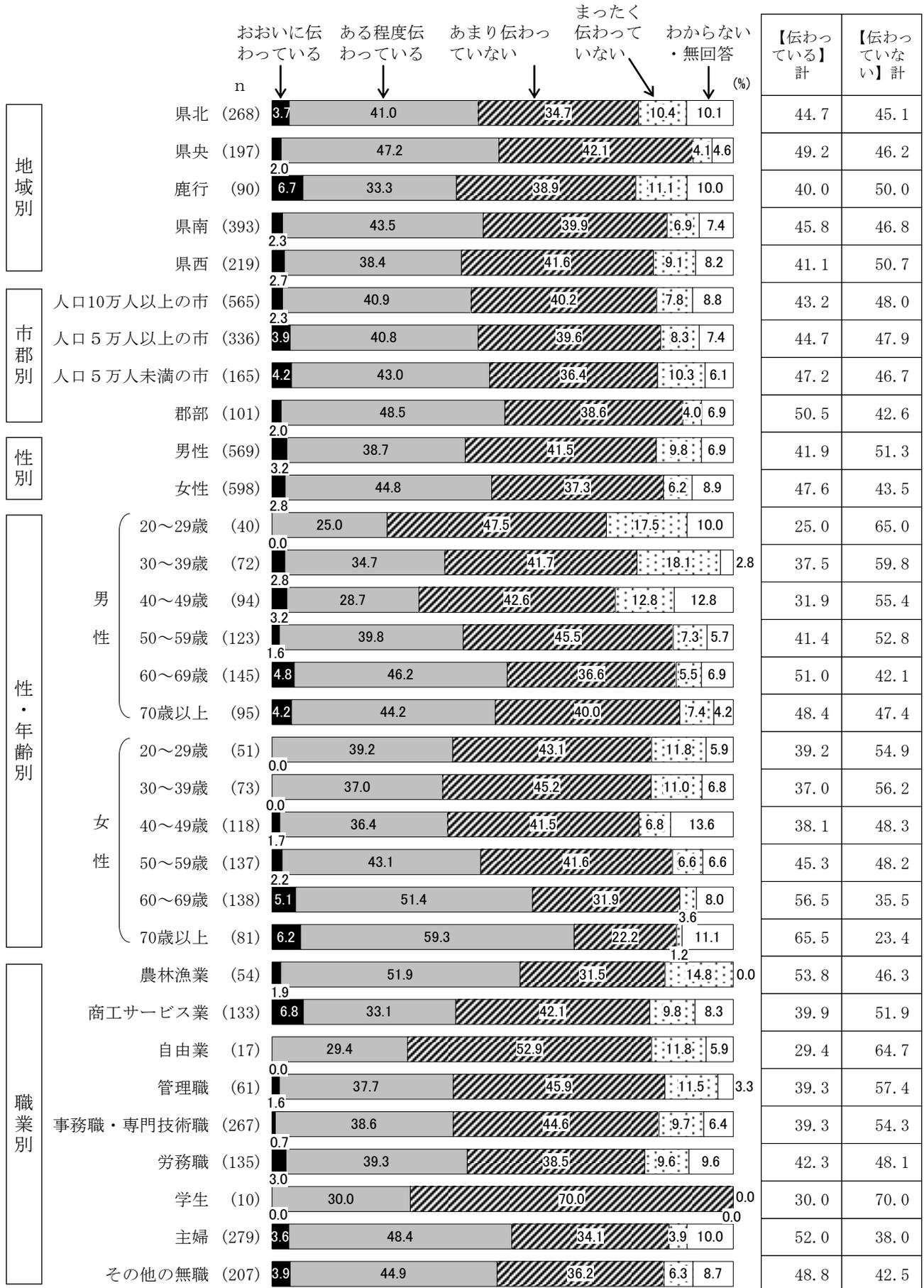
市郡別でみると、【伝わっている】は、郡部（50.5%）で5割を超えて最も高くなっている。

性別でみると、【伝わっている】は、女性（47.6%）が男性（41.9%）よりも約6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、【伝わっている】は、女性の70歳以上（65.5%）で6割台半ばと最も高く、男性の60代（51.0%）、女性の60代（56.5%）で5割を超えている。また、男女ともに60代と70歳以上で【伝わっている】が【伝わっていない】を上回っている。

職業別でみると、【伝わっている】は、農林漁業（53.8%）、主婦（52.0%）で5割を超えている。

図XIII 1-2 県政情報の到達度（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別）

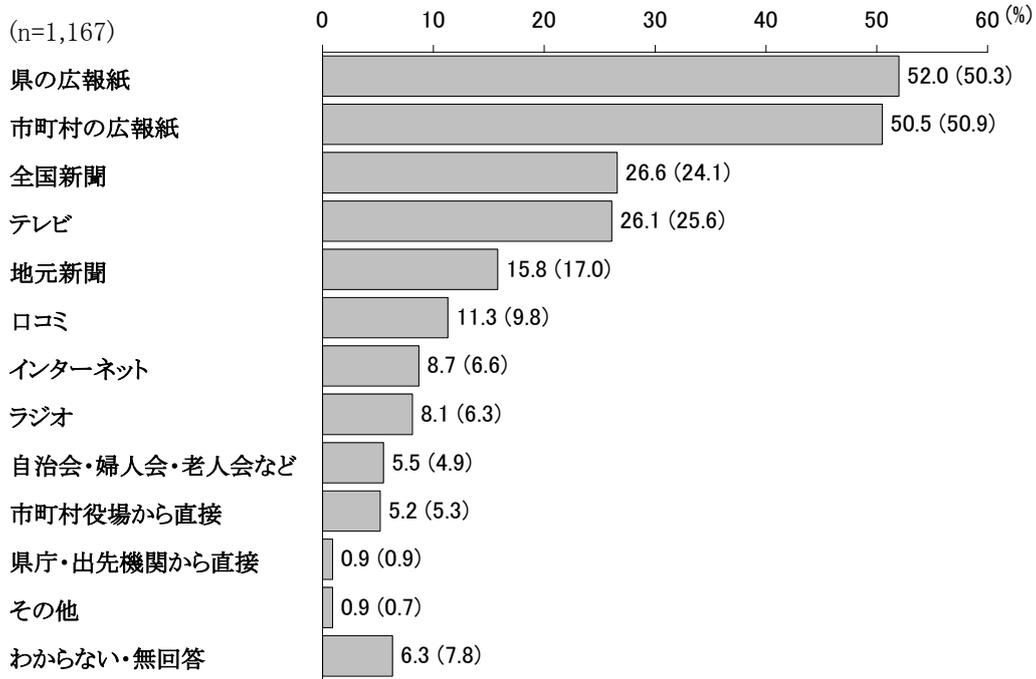


(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

2. 県政情報の主な入手先

—「県の広報紙」と「市町村の広報紙」が5割を超える—

問2 あなたは、県政情報を主にどこから入手していますか。次の中から、主なものを3つまで選んでください。

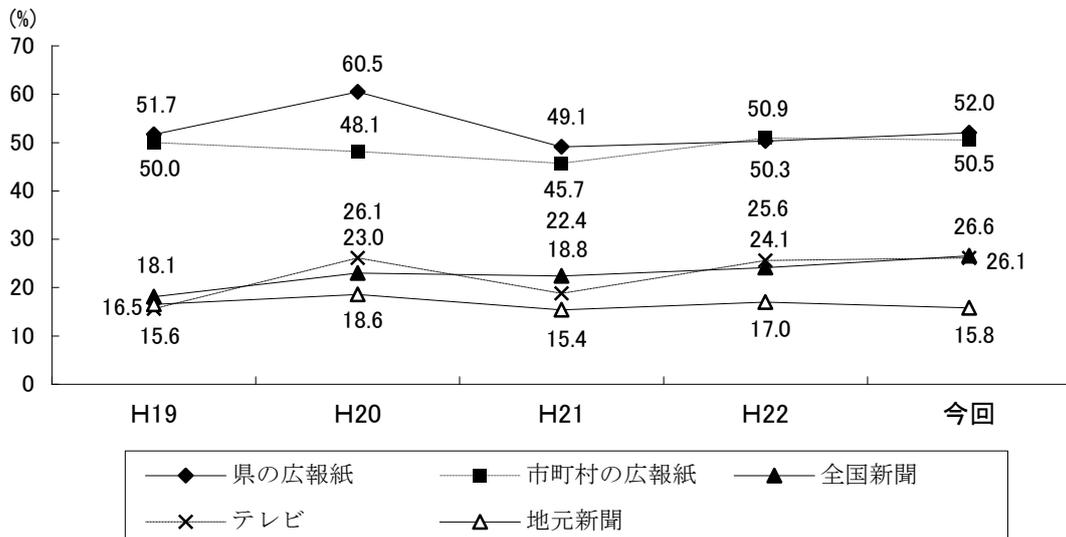


※()内の数値は、平成22年の調査結果

県政情報の主な入手先としては、「県の広報紙」(52.0%)と「市町村の広報紙」(50.5%)が5割台で高く、この2項目が突出している。次いで、「全国新聞」(26.6%)と「テレビ」(26.1%)が2割台、「地元新聞」(15.8%)と「ロコミ」(11.3%)が1割台が続いている。

前回調査と比べると、大きな差はみられない。

図XIII 2-1 県政情報の主な入手先(時系列)



—「県の広報紙」は、男女の20代、30代以外の年代で5割を超える—

地域別でみると、「県の広報紙」は、県央（60.4%）で約6割と高く、県西（43.4%）で4割台半ばと低くなっている。また、「市町村の広報紙」は、県北（54.1%）と県央（55.8%）で5割台半ばとなっており、鹿行（50.0%）で5割となっている。「全国新聞」は、県南（32.6%）で3割を超えてやや高くなっている。

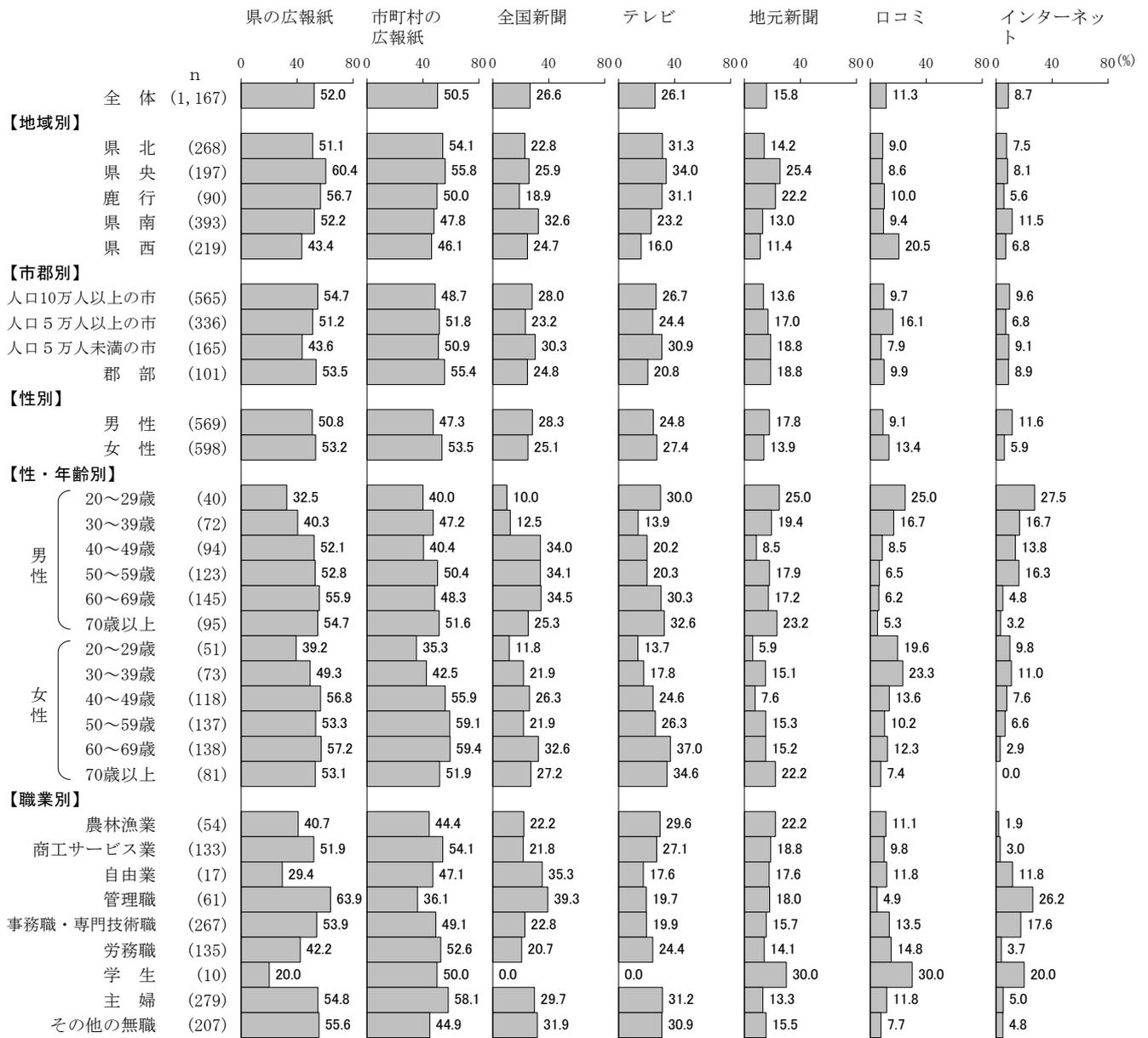
市郡別でみると、「県の広報紙」は、人口5万人未満の市（43.6%）以外のすべての層で5割を超えている。また、「市町村の広報紙」は、郡部（55.4%）で5割台半ばと最も高く、それ以外の層では5割前後となっている。「全国新聞」は、人口10万人以上の市（28.0%）と人口5万人未満の市（30.3%）で3割前後と高くなっている。

性別でみると、「市町村の広報紙」は、女性（53.5%）が男性（47.3%）よりも約6ポイント高くなっている。一方、「インターネット」は、男性（11.6%）が女性（5.9%）よりも約6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「県の広報紙」は、男女ともに20代と30代以外の年代で5割を超えている。また、「市町村の広報紙」は、女性の40代（55.9%）、50代（59.1%）、60代（59.4%）で5割台半ばを超えて高くなっている。「全国新聞」は、男性の40代（34.0%）、50代（34.1%）、60代（34.5%）と女性の60代（32.6%）で3割台半ばとなっている。

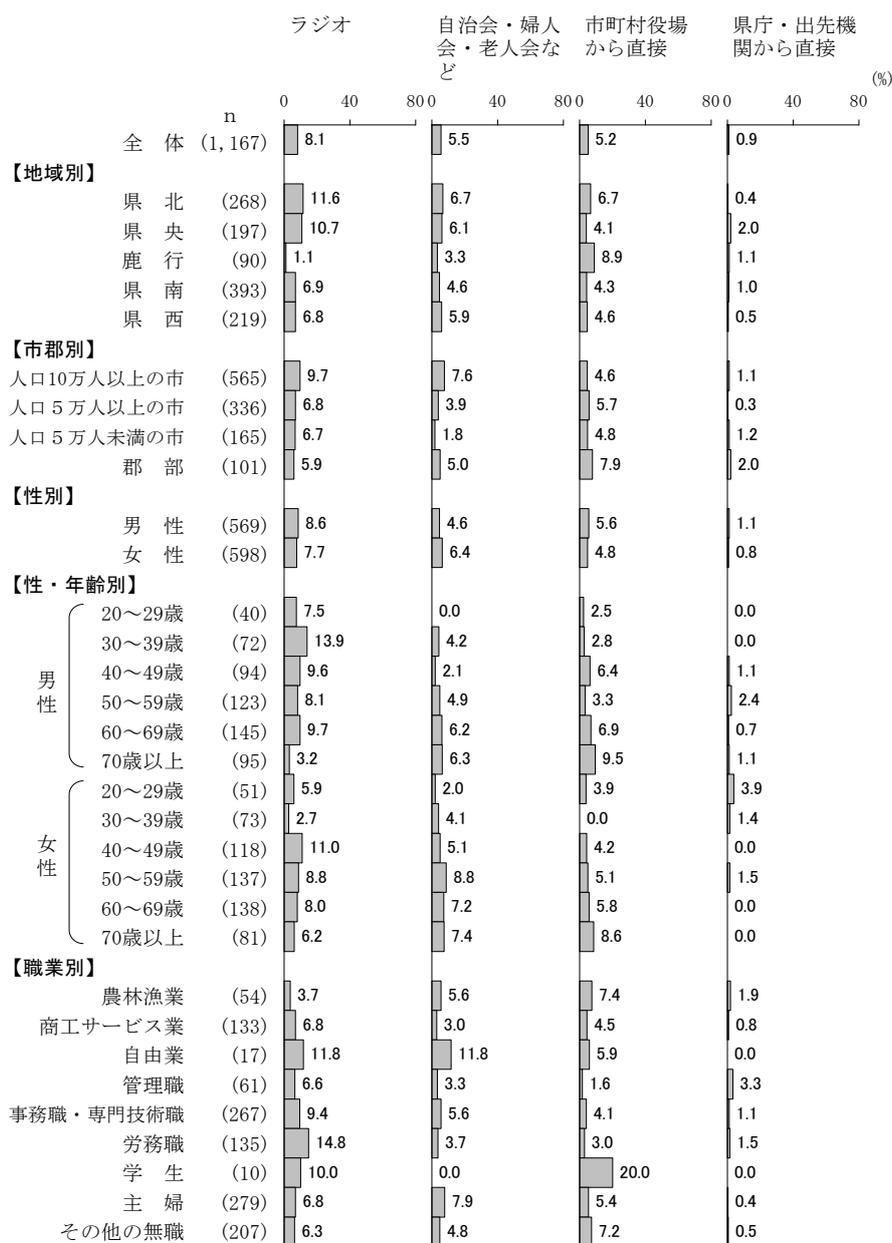
職業別でみると、「県の広報紙」は、管理職（63.9%）で6割台半ばと最も高く、商工サービス業（51.9%）、事務職・専門技術職（53.9%）、主婦（54.8%）、その他の無職（55.6%）で5割台半ばとなっている。「市町村の広報紙」は、商工サービス業（54.1%）、労務職（52.6%）、主婦（58.1%）で5割を超えている。「全国新聞」は、管理職（39.3%）で約4割と最も高くなっている。

図XIII 2-2 県政情報の主な入手先（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別）



(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

〈続き〉 図XIII 2-2 県政情報の主な入手先（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別）



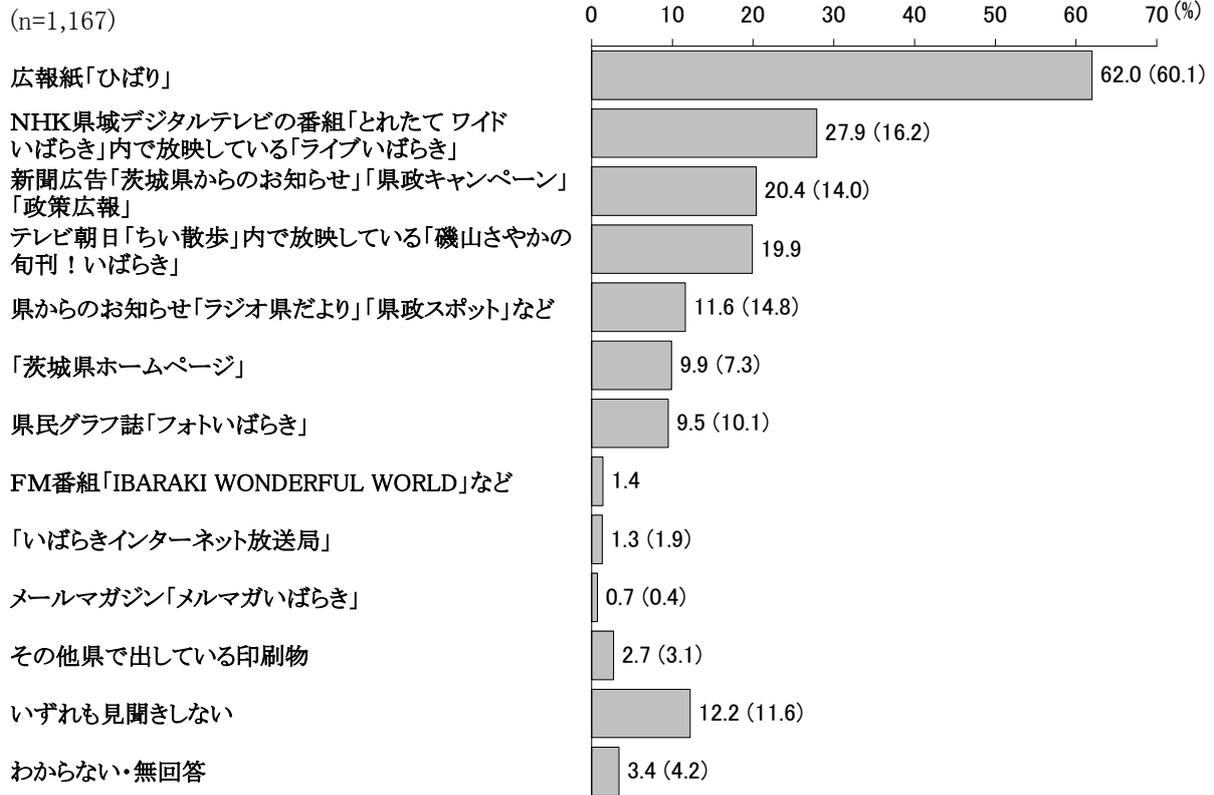
(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

3. 最近接触した広報媒体

(1) 最近接触した広報媒体

— 広報紙『ひばり』が6割を超えて最も多い —

問3 県政情報について、この1年の間に一度でも見たり、聞いたり、読んだりしたものはどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



※ ()内の数値は、平成22年の調査結果

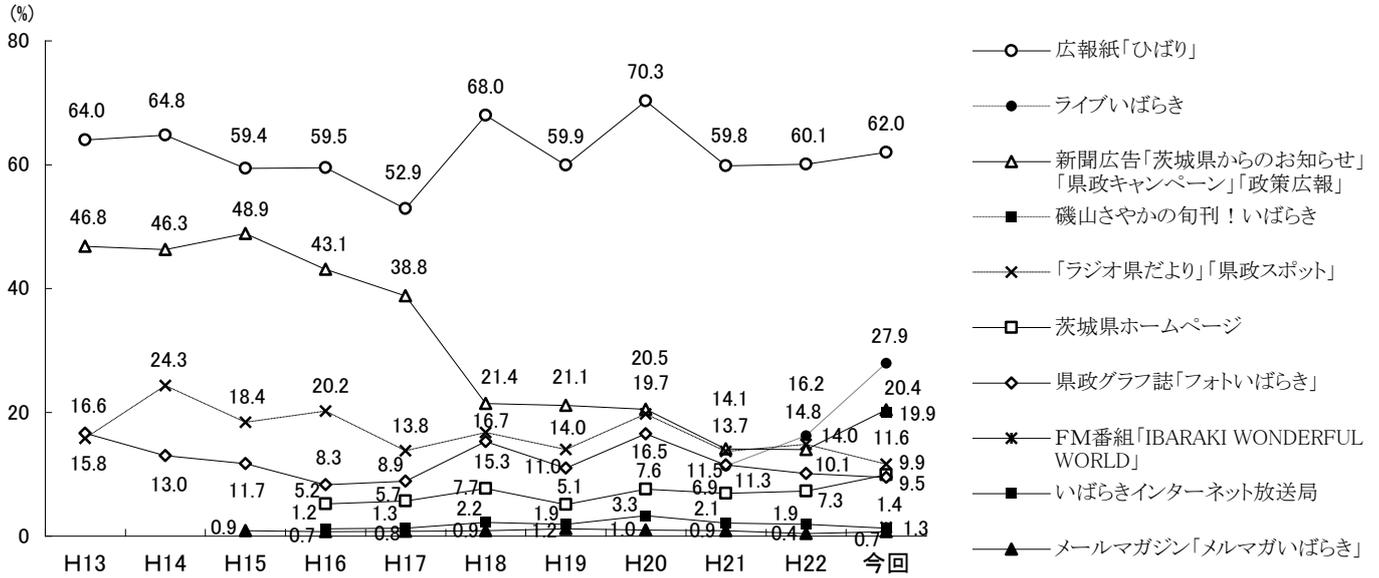
※ 「テレビ朝日『ちい散歩』内で放映している『磯山さやかの旬刊!いばらき』と「FM番組『IBARAKI WONDERFUL WORLD』など」は今回調査から追加

※ 「NHK県域デジタルテレビの番組『とれたてワイドいばらき』内で放映している『ライブいばらき』は、平成22年は『とれたてワイドいばらき』内で放映している『まちむら中継』、「新聞広告『茨城県からのお知らせ』『県政キャンペーン』『政策広報』は、平成22年は「茨城県からのお知らせ』『県政キャンペーン』

最近接触した広報媒体としては、「広報紙『ひばり』」(62.0%)が6割を超えて最も高く、次いで、「NHK県域デジタルテレビの番組『とれたてワイドいばらき』内で放映している『ライブいばらき』」(27.9%)が約3割で続いている。以下、「新聞広告『茨城県からのお知らせ』『県政キャンペーン』『政策広報』」(20.4%)、「テレビ朝日『ちい散歩』内で放映している『磯山さやかの旬刊!いばらき』」(19.9%)と続いている。

前回調査と比べると、「NHK県域デジタルテレビの番組『とれたてワイドいばらき』」内で放映している『ライブいばらき』が約12ポイント、「新聞広告『茨城県からのお知らせ』『県政キャンペーン』『政策広報』」が約6ポイント増加している。

図XIII 3-1 最近接触した広報媒体（時系列比較）



※ メールマガジン「メルマガいばらき」は平成15年より追加
 ※ 「茨城県ホームページ」及び「いばらきインターネット放送局」は平成16年より追加
 ※ 「ライブいばらき」は平成21年より追加、平成21年と平成22年は「まちむら中継」
 ※ 「新聞広告『茨城県からのお知らせ』『県政キャンペーン』『政策広報』」は、平成22年までは「新聞広報『茨城県からのお知らせ』『県政キャンペーン』」
 ※ 「磯山さやかのお旬刊！いばらき」及び「FM番組『IBARAKI WONDERFUL WORLD』」は今回より追加

一 広報紙『ひばり』は、県西以外の地域で6割台半ば一

地域別でみると、「広報紙『ひばり』」は、県西（54.3%）で5割台半ばと最も低く、それ以外の地域では6割台半ばと高くなっている。「NHK県域デジタルテレビの番組『とれたてワイドいばらき』」内で放映している『ライブいばらき』は、県央（48.2%）で約5割と最も高く、県北（36.9%）で約4割、鹿行（28.9%）と県南（21.1%）では2割台となっているが、県西（10.5%）では約1割と低くなっている。「新聞広告『茨城県からのお知らせ』『県政キャンペーン』『政策広報』」は、県北（24.6%）と県央（26.4%）で2割台半ばとなっている。

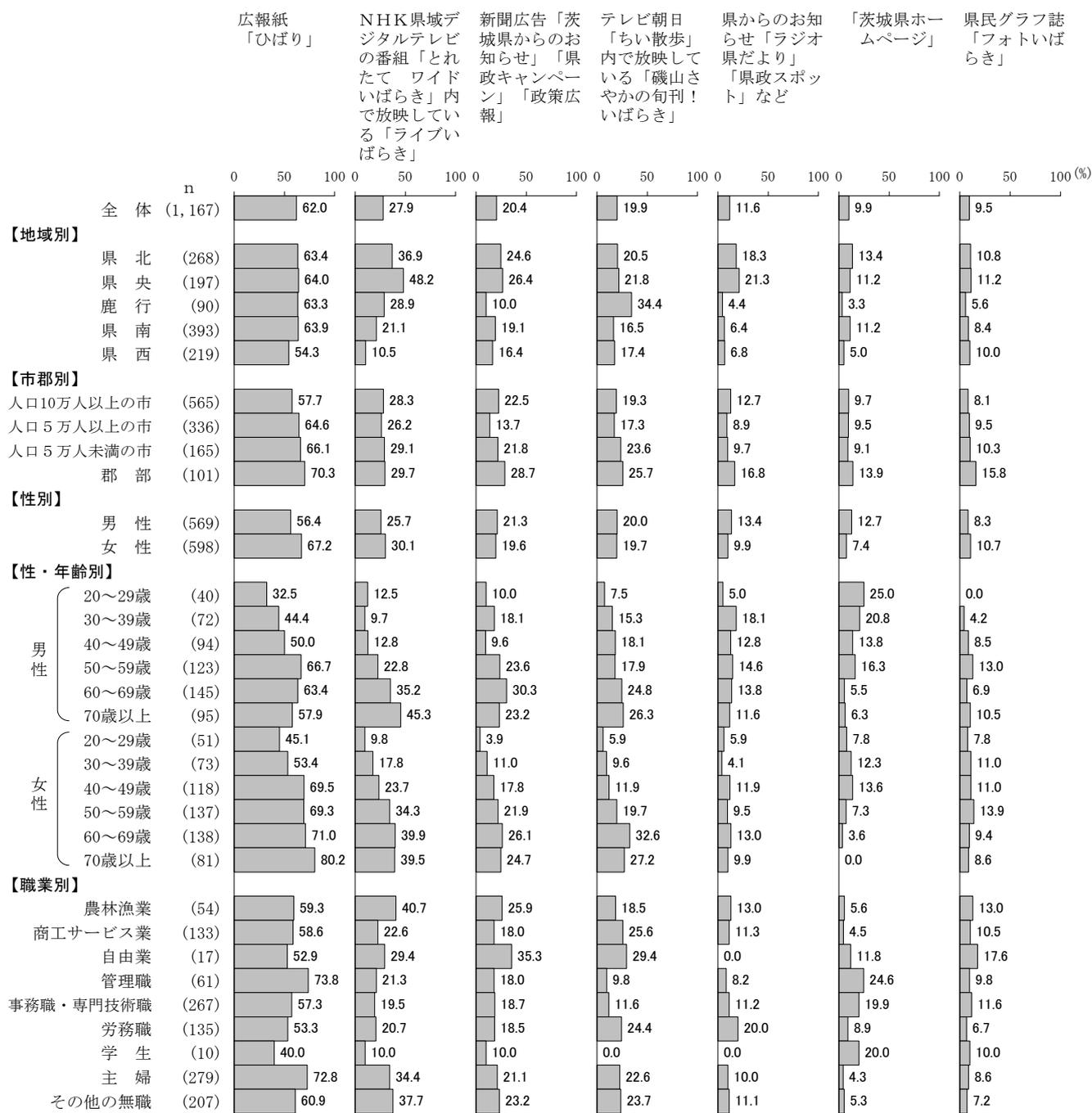
市郡別でみると、「広報紙『ひばり』」は、郡部（70.3%）で約7割と最も高く、人口5万人以上の市（64.6%）と人口5万人未満の市（66.1%）で6割台半ばとなっている。「NHK県域デジタルテレビの番組『とれたてワイドいばらき』」内で放映している『ライブいばらき』は、すべての層で2割台半ばを超えている。

性別でみると、「広報紙『ひばり』」は、女性（67.2%）が男性（56.4%）よりも約11ポイント、「NHK県域デジタルテレビの番組『とれたてワイドいばらき』」内で放映している『ライブいばらき』は、女性（30.1%）が男性（25.7%）よりも約4ポイント高くなっている。また、「茨城県ホームページ」は、男性（12.7%）が女性（7.4%）よりも約5ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「広報紙『ひばり』」は、男性では、50代（66.7%）と60代（63.4%）で6割台半ば、40代（50.0%）、70歳以上（57.9%）で5割を超えている。一方、女性では、70歳以上（80.2%）で約8割、40代（69.5%）、50代（69.3%）、60代（71.0%）で7割前後と高くなっている。「NHK県域デジタルテレビの番組『とれたてワイドいばらき』」内で放映している『ライブいばらき』は、男性の70歳以上（45.3%）で4割台半ばと最も高く、女性の60代（39.9%）と70歳以上（39.5%）で約4割と高くなっている。

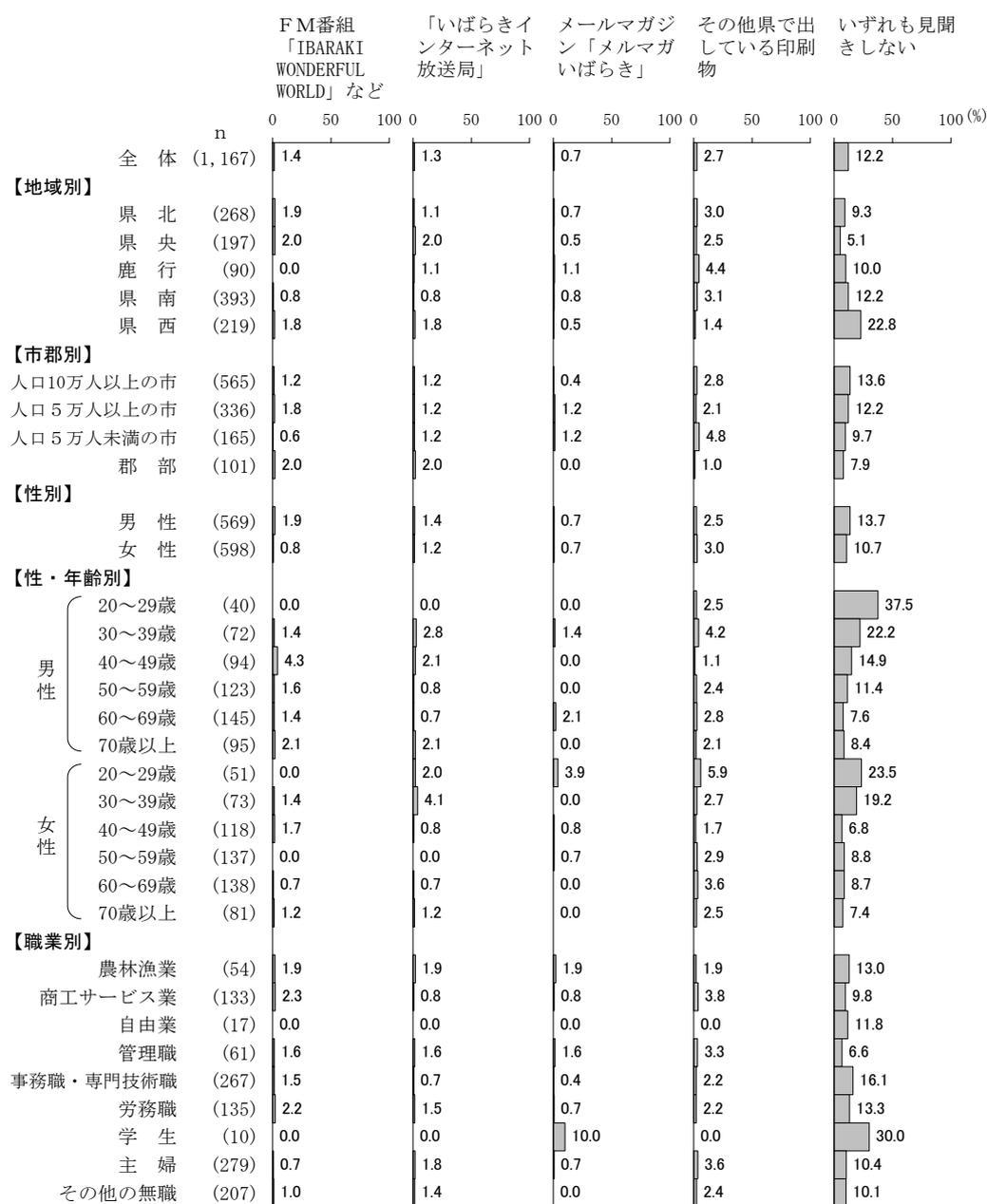
職業別でみると、「広報紙『ひばり』」は、管理職（73.8%）と主婦（72.8%）で7割を超えて最も高く、農林漁業（59.3%）、商工サービス業（58.6%）、事務職・専門技術職（57.3%）、その他の無職（60.9%）で6割前後と高くなっている。「NHK県域デジタルテレビの番組『とれたてワイドいばらき』」内で放映している『ライブいばらき』は、農林漁業（40.7%）で4割を超えて最も高く、主婦（34.4%）とその他の無職（37.7%）で3割を超えている。

図XIII 3-2 最近接触した広報媒体（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別）



(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

〈続き〉図XIII 3-2 最近接触した広報媒体（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別）



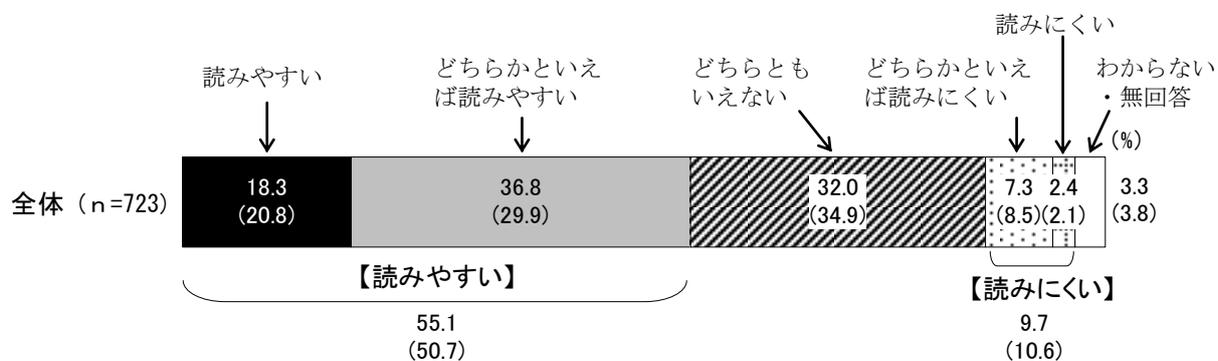
(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

(2) 「ひばり」の読みやすさ

— 【読みやすい】が半数を超える—

(問3で、「広報紙『ひばり』」と回答した方のみ)

問3-1 広報紙「ひばり」の読みやすさについて、あなたはどのように思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

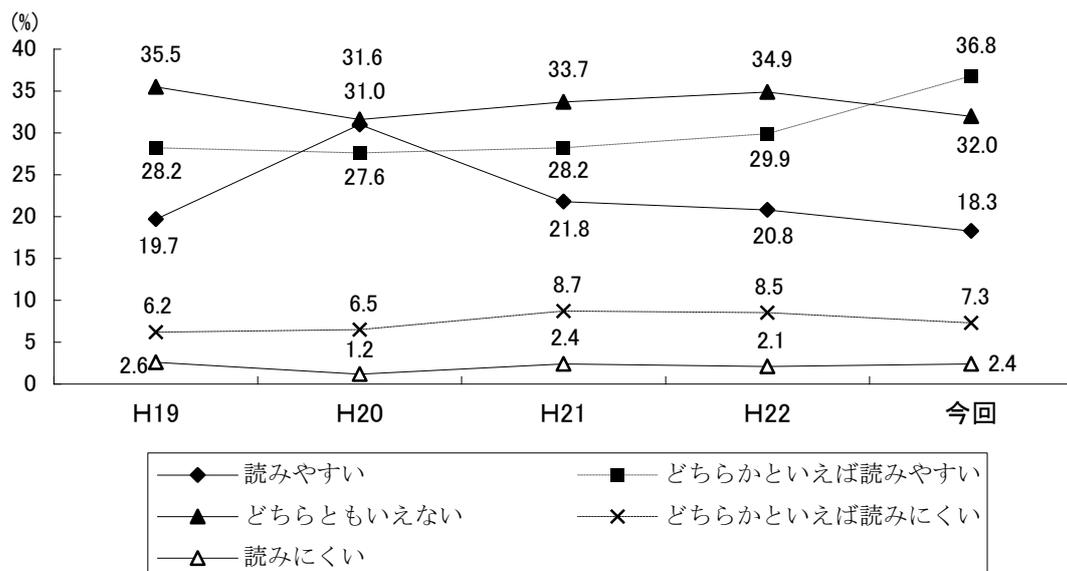


※()内の数値は、平成22年の調査結果

最近接触した広報媒体で「広報紙『ひばり』」と回答した方に、読みやすさを聞いたところ、「読みやすい」(18.3%)と「どちらかといえば読みやすい」(36.8%)を合わせた【読みやすい】(55.1%)が、5割台半ばとなっている。一方、「どちらかといえば読みにくい」(7.3%)と「読みにくい」(2.4%)を合わせた【読みにくい】(9.7%)は、1割未満となっている。

前回調査と比べると、【読みやすい】が約4ポイント増加している。

図XIII 3-1-1 「ひばり」の読みやすさ (時系列)



—【読みやすい】は、県西で6割を超える—

地域別でみると、【読みやすい】は、県西（61.4%）で6割を超えて最も高く、鹿行（49.2%）以外の地域で5割を超えている。

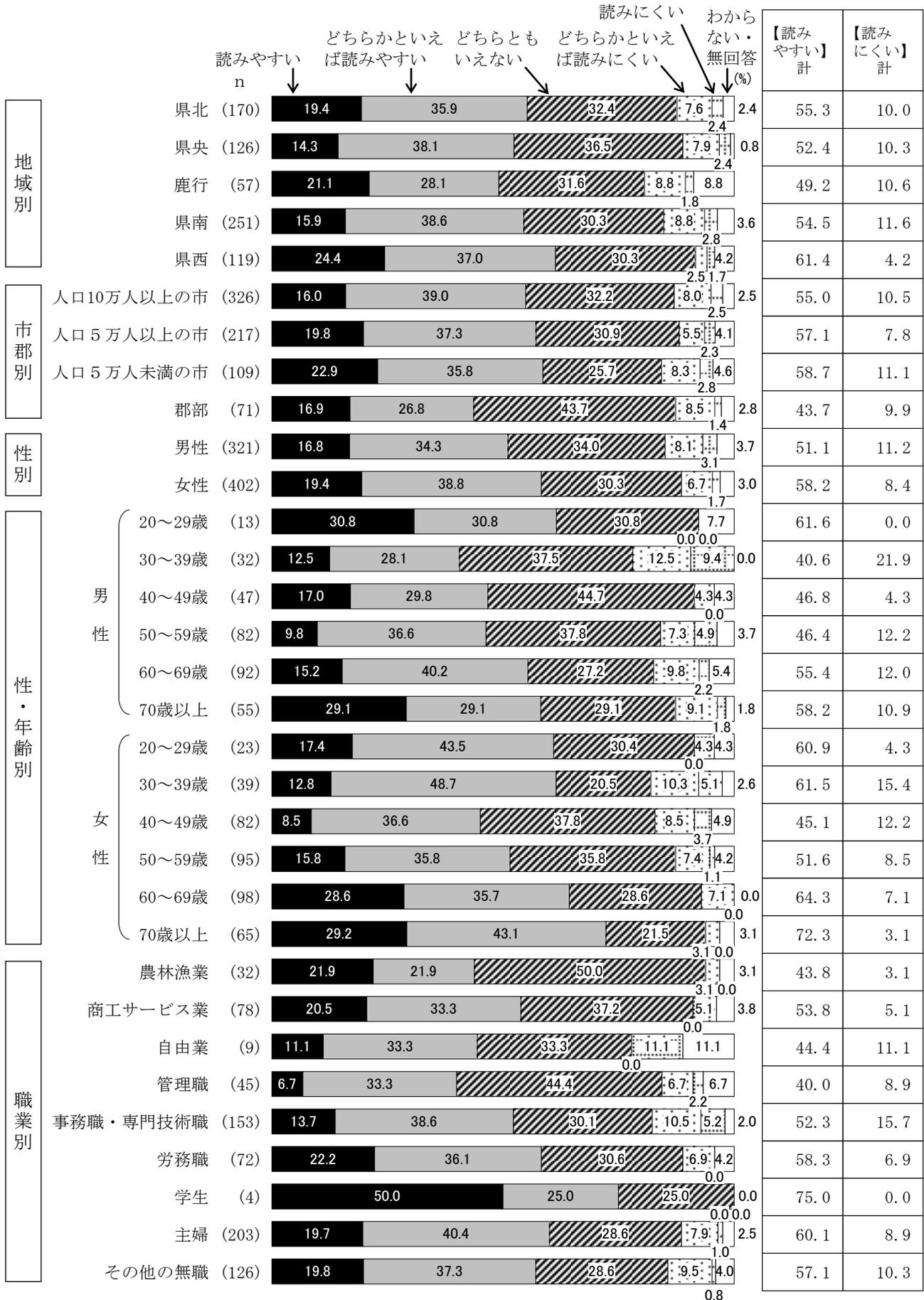
市郡別でみると、【読みやすい】は、郡部（43.7%）以外の層で5割台半ばを超えている。

性別でみると、【読みやすい】は、女性（58.2%）が男性（51.1%）よりも約7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、【読みやすい】は、女性の70歳以上（72.3%）で7割を超えて最も高く、女性の30代（61.5%）と60代（64.3%）で6割を超えている。

職業別でみると、【読みやすい】は、労務職（58.3%）、主婦（60.1%）、その他の無職（57.1%）で6割前後と高くなっている。

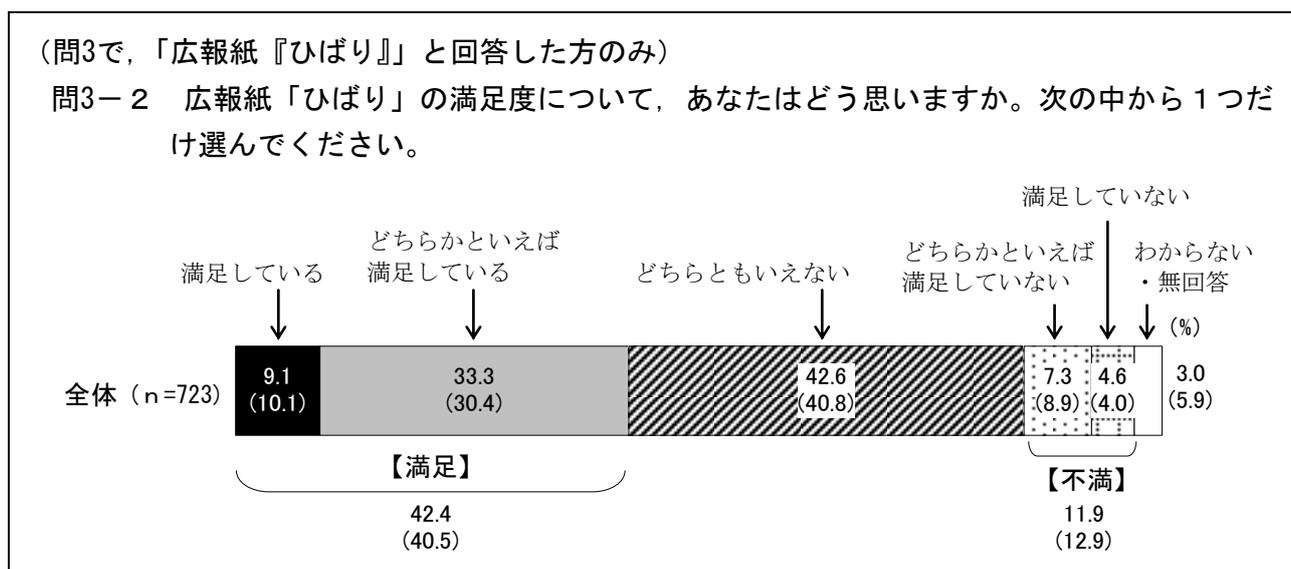
図XIII 3-1-2 「ひばり」の読みやすさ（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別）



(注) 男性及び女性の20~29歳，自由業，学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

(3) 「ひばり」の満足度

—【満足】が4割を超える—



最近接触した広報媒体で「広報紙『ひばり』」と回答した方に、満足度を聞いたところ、「満足している」(9.1%)と「どちらかといえば満足している」(33.3%)を合わせた【満足】(42.4%)は、4割を超えている。一方、「どちらかといえば満足していない」(7.3%)と「満足していない」(4.6%)を合わせた【不満】(11.9%)は、1割を超えている。なお、「どちらともいえない」(42.6%)は4割を超えている。

前回調査と比べると、大きな差はみられない。

—【満足】は県西で5割を超える—

地域別でみると、【満足】は、県西(51.3%)で5割を超えて最も高く、県央(38.1%)以外の地域では4割を超えている。

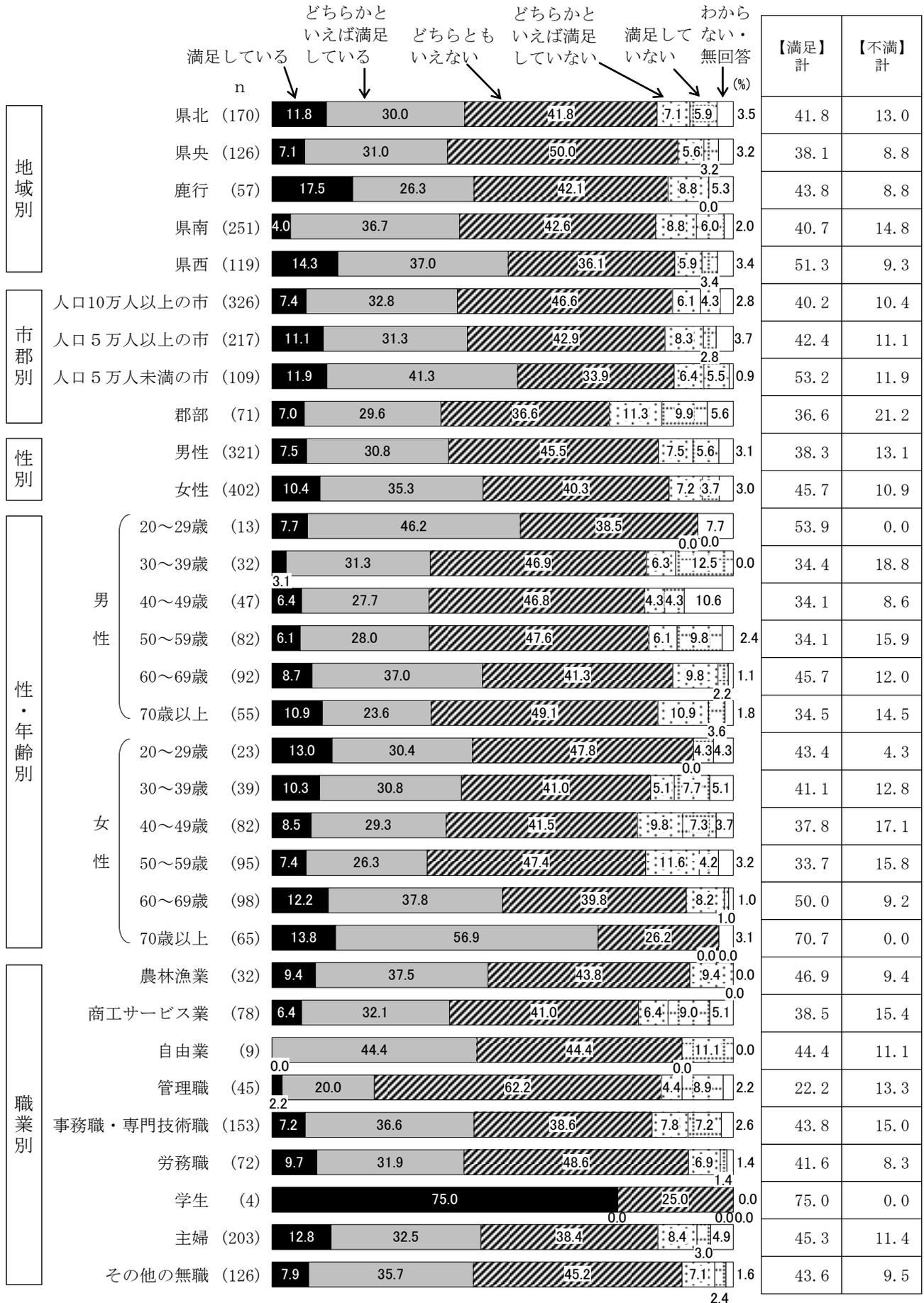
市郡別でみると、【満足】は、人口5万人未満の市(53.2%)で5割台半ばと最も高く、郡部(36.6%)以外の層で4割を超えている。

性別でみると、【満足】は、女性(45.7%)が男性(38.3%)よりも約7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、【満足】は、女性の70歳以上(70.7%)で約7割と最も高く、女性の60代(50.0%)で5割、男性の60代(45.7%)で4割台半ばとなっている。

職業別でみると、【満足】は、商工サービス業(38.5%)と管理職(22.2%)以外の職業で4割を超えて高くなっている。

図XIII 3-2-1 「ひばり」の満足度（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別）

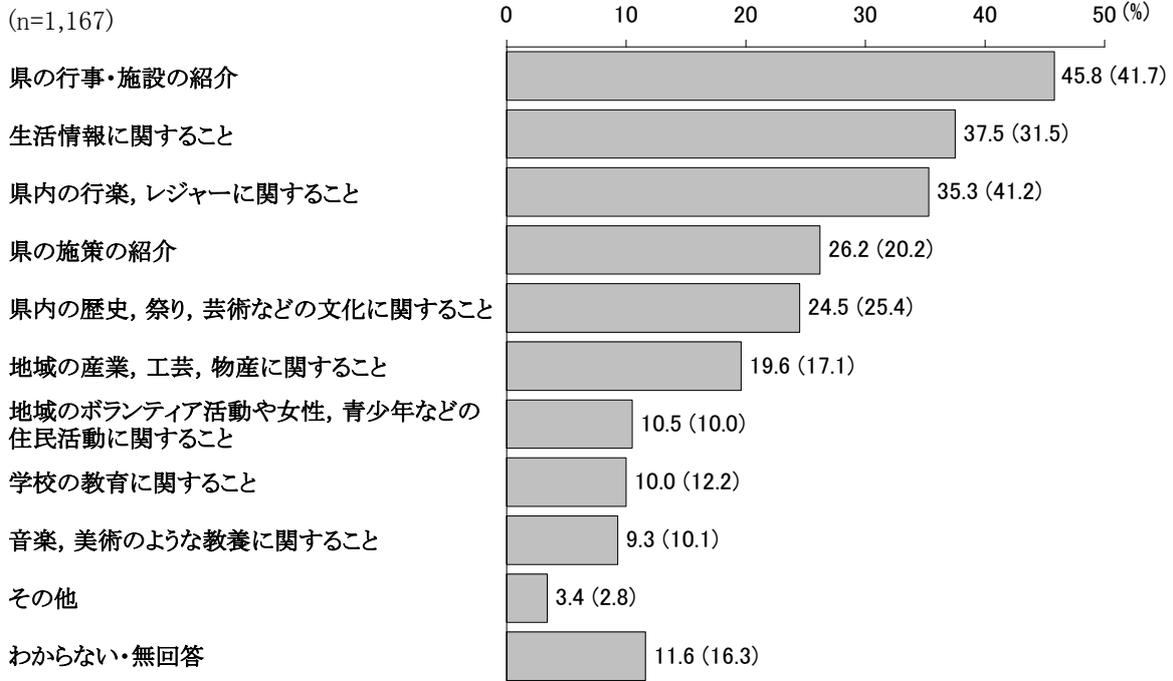


(注) 男性及び女性の20～29歳，自由業，学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

4. 「ひばり」で取り上げてほしいテーマ

— 「県の行事・施設の紹介」が4割台半ば —

問4 広報紙「ひばり」について、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。また、現在、読んだことのない方も、どのようなテーマがあれば読みたいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

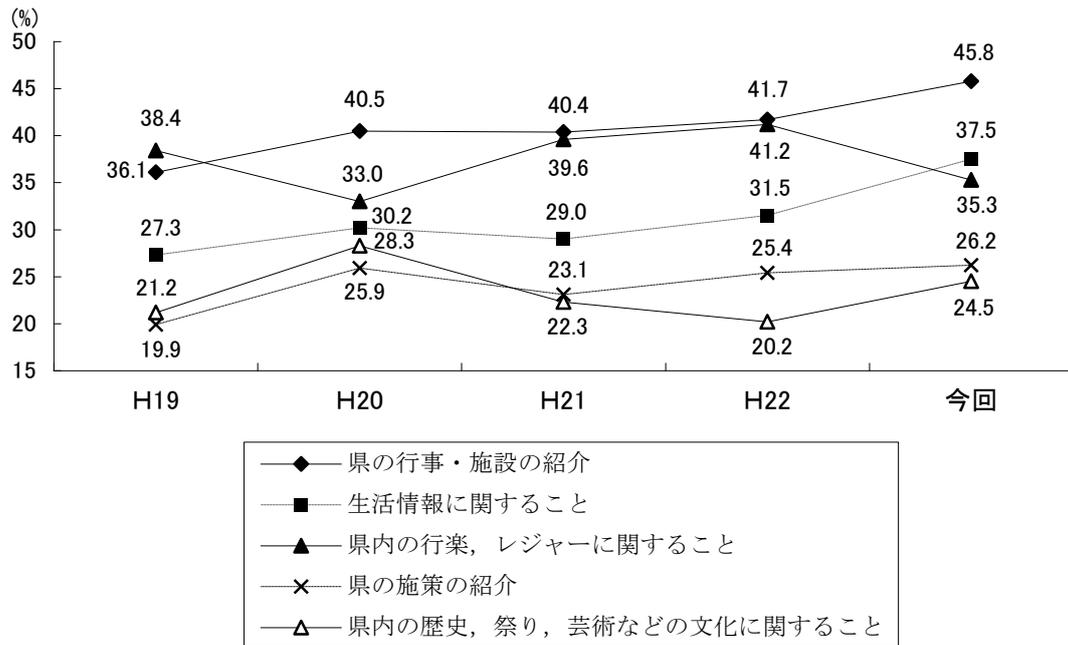


※()内の数値は、平成22年の調査結果

「ひばり」で取り上げてほしいテーマとしては、「県の行事・施設の紹介」(45.8%)が4割台半ばで高く、次いで、「生活情報に関すること」(37.5%)、「県内の行楽, レジャーに関すること」(35.3%)が3割台、「県の施策の紹介」(26.2%)、「県内の歴史, 祭り, 芸術などの文化に関すること」(24.5%)が2割台で続いている。

前回調査と比べると、「県の行事・施設の紹介」が約4ポイント、「生活情報に関すること」と「県の施策の紹介」が、それぞれ6ポイント増加している。一方、「県内の行楽, レジャーに関すること」は約6ポイント減少している。

図 XIII 4-1 「ひばり」で取り上げてほしいテーマ（時系列—上位5位）



—「県の行事・施設の紹介」は県北で約5割,「生活情報に関すること」は県北と県央で4割台半ば—
地域別でみると,「県の行事・施設の紹介」は,県北(49.6%)で約5割と最も高く,県央(45.2%),
県南(45.3%),県西(46.1%)で4割台半ばとなっている。「生活情報に関すること」は,県北(44.4%)
と県央(44.2%)で4割台半ばと高くなっている。「県内の行楽,レジャーに関すること」は,県
央(28.4%)以外の地域で3割を超えている。

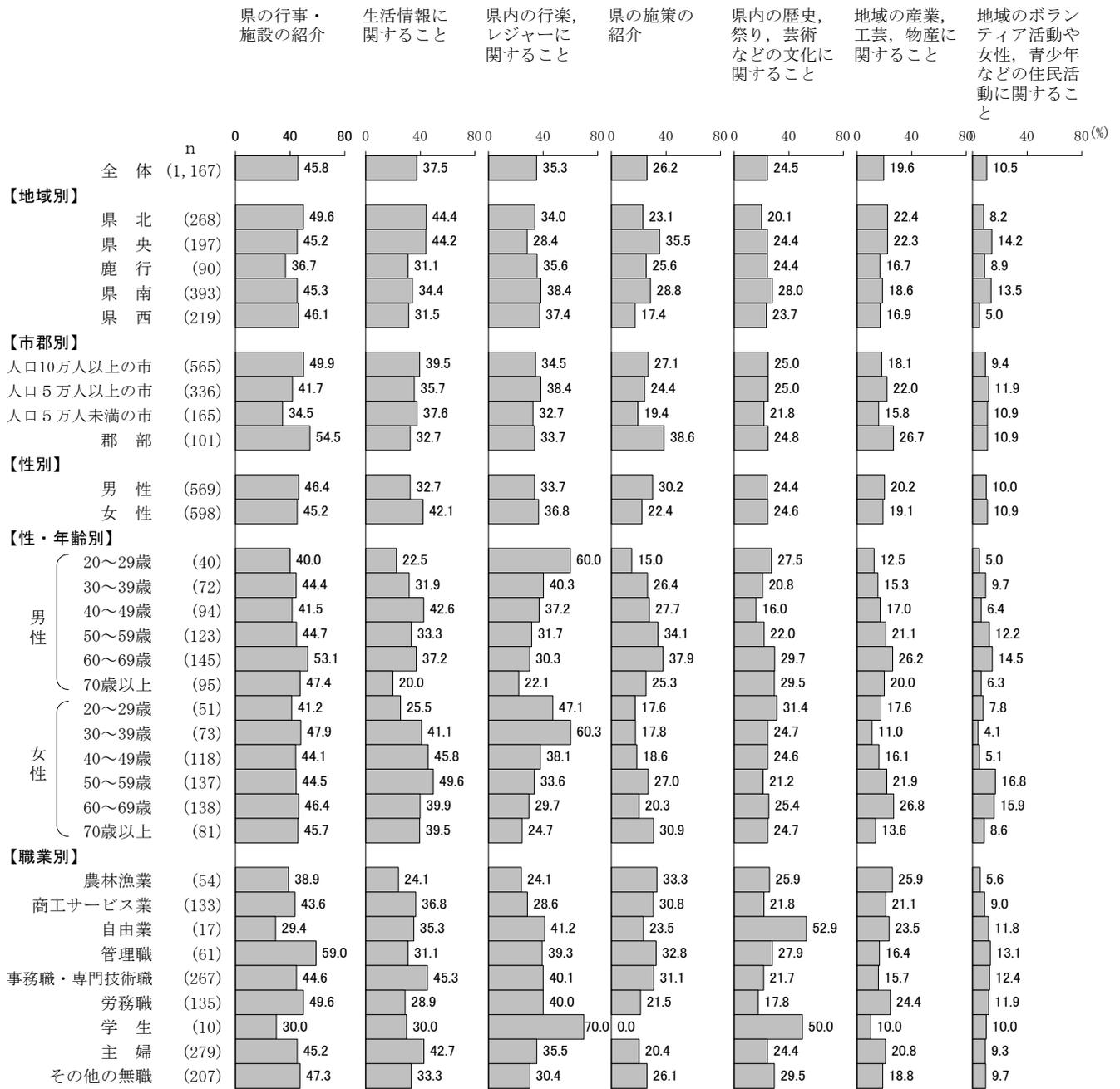
市郡別でみると,「県の行事・施設の紹介」は,郡部(54.5%)で5割台半ばと最も高く,人口
10万人以上の市(49.9%)で約5割と高くなっている。また,「生活情報に関すること」は,人口
10万人以上の市(39.5%)と人口5万人未満の市(37.6%)で約4割と高くなっている。

性別でみると,「生活情報に関すること」は,女性(42.1%)が男性(32.7%)よりも約9ポイ
ント高くなっている。一方,「県の施策の紹介」は,男性(30.2%)が女性(22.4%)よりも約8
ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると,男性では,「県の行事・施設の紹介」は,60代(53.1%)で5割台半ばと
最も高く,それ以外の年代でも4割を超えている。女性では,すべての年代で4割を超えている。
「生活情報に関すること」は,女性の50代(49.6%)で約5割と最も高くなっている。「県内のレ
ジャーに関すること」は,男性では,20代(60.0%)で6割と最も高く,年代が上がるほど割合は
低くなっている。女性では,30代(60.3%)で約6割と最も高く,それ以上の年代では年代が上
がるほど割合は低くなっている。

職業別でみると,「県の行事・施設の紹介」は,管理職(59.0%)で約6割と高くなっている。
また,「生活情報に関すること」は,事務職・専門技術職(45.3%)と主婦(42.7%)で4割を超
えて高くなっている。

図XIII 4-2 「ひばり」で取り上げてほしいテーマ
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別—上位7項目)



(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

